



# いずみの里



清水小宣言 「さわやかなあいさつをかわします」「進んで人のために働きます」「友だちを大切にします」

## カーニバル 今年も笑顔の花開く

6月、子供たちが楽しみにしていた児童会行事「清水小カーニバル」が行われました。今年の児童会目標「スマイルかがやくいずみっこ」の合言葉のもと、学校中に笑顔があふれる一日となりました。

清水小カーニバルは、各学級がお店を出し、全校のみんなに楽しんでもらう活動として行われています。子供たちは、ゲームやクイズ、体験コーナーなど、それぞれの学級ならではの工夫を生かし、来てくれた人に喜んでもらおうと準備を進めてきました。

今年は、児童委員会が「♪カーニバルでも清水小宣言♪」と題し、  
「すれちがう人みんなとあいさつをしよう」  
「すすんでクラスのために働こう」  
「ともだちのいいところをいっぱい見つけよう」

の三つを呼び掛けました。カーニバルを楽しむだけでなく、「こんな学校にしたい」という子供たち自身の願いが込められた取組であり、とても頼もしく感じました。



各学級のお店には、一人一人の「やってみたい」があふれていました。その一方で、準備を進める中では、「これをやりたい」「あれもやってみたい」と思いがぶつかることもあったようです。しかし、話し合いを重ね、互いの考えを認め合いながら一つの形にしていく過程こそ、学校で学ぶ大切な経験です。当日は、一人一人が自分の役割に責任をもち、友達と協力しながら生き生きと活動する姿が数多く見られました。

このカーニバルは、長年にわたり本校で受け継がれてきた行事です。時代や社会の変化に応じて、その形は少しずつ姿を変えてきました。縦割り活動を中心としていた時代もあれば、現在のように学級のまとまりや創意を生かす活動へと発展した時代もあります。学校の行事は、時代とともにその姿を変えていきます。子供たちの姿も、社会も変わります。しかし、変わらないものがあります。それは、「子供たちの創意を生かすこと」と、「よりよい人間関係づくりが教育活動の基盤である」という願いです。

今年の子供たちがつくったカーニバルは、今年だけのものではありません。そこで生まれた笑顔や工夫、反省や達成感、来年の子供たちへと受け継がれ、新しい「やってみたい」を生み出していきます。

学校とは、このように子供たちと教職員、そして保護者の皆様や地域の皆様が力を合わせながら、文化を育て、未来へつないでいく場所なのだと、今年のカニバルを見ながら改めて感じました。これからも、子供たち一人一人の「やってみたい」を大切にしながら、みんなで清水小学校の文化を育てていきたいと思ひます。

校長 袴田 眞也

# スマイル かがやく いずみっこ 清水小 カーニバル 2026

カーニバルでは、子供たち自身が互いに協力し合って、「やってみたい」や「～したい」というそれぞれの思いを形にしました。児童会目標のとおり、素敵なスマイルが学校中でかがやいていた清水小カーニバルでした。

お店をする側では、お客さんの学年に応じた対応で、ゲームの説明をしたり、少し緊張しながらお兄さんお姉さんを誘導したり、どの子も自分の役割を一生懸命に果たそうと頑張っていました。また、お客さんとしても、年下の子の説明をしっかりと聞いて手作りの道具を丁寧に扱ったり、面白かったよと素直な感想を伝えたりする姿に、ころろがととても温かくなりました。

この日は、「学校運営協議会」も開催されました。本校では年に4回開催し、教育活動の内容やその妥当性、施設の活用や教育活動予算に関する事、学校の課題に関する事などについて話し合い、学校の進む方向性を決めていきます。今年度も以下7名の地域の皆さんと「地域とともにある学校」を目指して協議会を開催します。

## 令和8年度学校運営協議会委員

氏名	役職・備考
小澤 徹也さん	会長
山本 翔平さん	PTA会長
大隅 千秋さん	地域学校協働活動推進員
吉長 浩世さん	主任児童委員
齋藤 純奈さん	元PTA会長
須田 安里さん	地域学校協働活動推進員
木村 英治さん	保護司



協議会では、子供の生の声をもっと聞きたい、その上で地域の大人ができることを模索したいという声や、保護者にこの協議会の仕組みや取組を知ってもらいたいといった意見がありました。次回は、委員が子供たちと給食を一緒に食べる時間を設定し、生の声を聞き、地域とともにできること、子供の姿や願いを知る機会の一つとしたいと考えています。

また、昨年度、保護者を中心に発足した、「いずみっこサポーターズ」も、地域とともに子供の学び・体験を支える組織です。学校や地域の行事に関わり、子供たちがわくわくするようなイベントを企画・運営されています。昨年は、清水小のグラウンドで夜の花火大会を開催されたり、PTA 行事「夜の学校探検」の中で、お化け屋敷ブースを運営されたりし、多くの子供たち、そして保護者の笑顔につながりました。

こういった活動（地域学校協働活動）が、学校を核として広がることで、保護者や地域の方のつながりもひろがり、しいては未来の地域（清水町）づくりにつながると考えています。